

会 議 録

平成29年度 第18採択地区教科用図書 第2回選定委員会

招集年月日	平成29年7月14日（金）	開会場所	行田市産業文化会館 2A会議室		
開閉の時刻 及び宣言者	開会 7月14日（金） 15時30分 閉会 7月14日（金） 16時30分	司会	学校教育課指導主事兼主幹		
会長	小学校長会長	会長職務代理者	行田市教育研究会長	仮議長	
席次番号	出席の委員	摘 要			
1	小学校校長会長				
2	行田市教育研究会長				
3	中学校校長会長				
4	行田市PTA連合会長				
5	学校教育課長				
議 事 参 与 者			書 記		
学校教育課指導主事兼主幹			書記 学校教育課指導主事兼主幹		

会議事件名		顛	末
会 議 の 進 行 状 況	1 開会	司会 第2回第18採択地区教科用図書選定委員会を始める。	
	2 あいさつ	第18採択地区教科用図書選定委員長 司会 議事進行については、第18採択地区教科用図書選定委員会規約第9条により、第18採択地区教科用図書選定委員長にお願いします。 会長 はじめに、第18採択地区教科用図書選定委員会規約第10条により、この会は公開とするが、よいか。 【全委員承認】 会長 事務局、傍聴される方は来ているか。 事務局 3名いる。 会長 傍聴人を入場させる。	
	3 調査員による教科用図書調査研究報告について	会長 事務局より研究調査報告について説明をお願いします。 事務局 本日の研究調査報告だが、担当指導主事が、全ての教科用図書について、調査員が作成した資料「第18・19採択地区教科用図書研究調査報告書」に基づいて報告する。報告後、質疑を行う。報告は、資料「平成30年度使用教科用図書一覧表」の順で行う。また、分量等の報告については、埼玉県教育委員会の調査資料の参照をお願いします。 会長 質問はあるか。なければ、承認をお願いします。 【全委員承認】 会長 それでは、報告をお願いします。 事務局 ○東京書籍について報告する。 1 〈道徳的諸価値についての理解を深めさせる工夫〉 ・中・高学年では、資料の最後上段に、ねらいに迫るための中心的発問が明記されている。 2 〈自己の生き方への考え方を深めさせる工夫〉 ・低学年では資料の最初、中・高学年では資料の最後下段に、当該資料で考えさせたい道徳的価値について自己の振り返りをする発問が明記されている。 3 〈道徳性を育成するための工夫〉 ・「出会う・ふれあう」が設けられ、自分自身を見つめたり、	

<p style="text-align: center;">会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>友だちの良さを認めたりする活動が出来るよう工夫されている。</p> <p>4 〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での効果的な工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年において「いじめのない世界へ」の中に2つの教材があり、いじめ問題について考えられるようになっている。 ・情報モラルについては、4・5・6学年で携帯電話・スマートフォンに絞って資料が作成されている。 <p>5 〈発達段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成させるための効果的な工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他教科との関連が図れるよう「つながる・広がる」のページで、問題意識がもてるようになっている。 ・低学年では、役割演技がしやすいようセリフが振り分けられているものがあったり、漫画のように吹き出し形式となったりしている資料がある。 <p>6 〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する効果的な工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習ができる教材「問題を見つけて考える」ページが3年生以上に掲載されている。 <p>7 資料の特色</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高学年になるにつれ、実在するスポーツ選手や偉人の伝記が取り上げられていて、興味をひくような資料が選ばれている。 ・ページをまたぐ挿絵や写真が多い。 ・全学年の巻末「付録、つながる 広がる」で日本の良さが紹介されている。 <p>8 表記表現の特色</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1・2年生では、分ち書きが取り入れられ、読みやすくなっている。 ・学習指導要領の4つの視点を分かりやすいマークで示している。 <p>最後に、全体的に、問題解決的な学習や体験的な学習を意識して作成されている。また、明記されている発問が絞られており、指導にあたる教員側も工夫しやすくなっている。</p> <p>会長 質問はあるか。</p> <p>選定委員 いじめ防止の2つの教材とは具体的にはどのページか。</p> <p>事務局 5年生のP. 37～P. 44にある。</p> <p>選定委員 他教科との関連が図れる「つながる・ひろがる」のページとは、どこを指しているか。</p> <p>事務局 例えば、5年生のP. 49にある。</p> <p>選定委員 問題解決的な学習を意識したページはどこか。</p> <p>事務局 例えば、6年生のP. 75にある。</p>
--	---

<p style="text-align: center;">会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>事務局 ○学校図書について報告する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 〈道徳的諸価値についての理解を深めさせる工夫〉 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2分冊で構成されている。「読みもの」は、巻頭に主題を掲載し、学習のねらいを明示している。「活動」は内容項目ごとに配置している。人物の行動や判断、心情を考えさせることを通して自分自身のこととして考えさせるとともに記録をポートフォリオとすることもできる。 2 〈自己の生き方への考えを深めさせる工夫〉 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「活動」では、一人一人が考えたことや発見した問題について、意見を書いたり、交流したり、実際に演技してみたりすることで、多面的・多角的な考えをもち、自己の生き方への考えを深められるようにしている。 3 〈道徳性を育成するための工夫〉 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「活動」の発問を「考えよう」「見つめよう」等のマークで分類し、問題解決学習、体験的な学習等多様な道徳学習を促す構成になっている。 ・ 巻末資料に上手な話し方・聞き方・話し合い・役割演技等の簡単な手法を示してある。 4 〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での効果的な工夫〉 <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報モラルに関する生活場面を取り上げ、コラムでは情報の受け手・発信者としての心構えを取り上げている。 5 〈発達段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成させるための効果的な工夫〉 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「生命の尊さ」を重点項目として、各学年3教材掲載し、低学年は身近な命にふれる、中学年は命の連続性に気付く、高学年は努力する人々の姿を取り上げている。家庭や地域、他教科との連携の工夫がある。 6 〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する効果的な工夫〉 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「活動」の発問を「考えよう」「見つめよう」等のマークで分類し、問題解決学習、体験的な学習等多様な道徳学習を促す構成となっている。 ・ 巻末資料に上手な話し方・聞き方・話し合い・役割演技等の簡単な手法を示している。 7 資料の特色 <ul style="list-style-type: none"> ・ 時節に合わせた教材配列で、多様な画風のイラストを豊富に掲載している。 ・ 教科書で目指すことを保護者に向けてまとめたページがある。 8 表記表現の特色 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「読みもの」には教材ごとに学習指導要領の4つの視点をマークで示し、内容項目、主題が明記されている。「活動」は内容項目ごとに一見開きにまとめられている。 <p style="text-align: center;">最後に、全体的に、2分冊として、読み物編と活動編の行き来により、問題解決的な学習、体験的な学習など多様な道徳学習を促す構成になっているのが特徴。</p> <p>会長 質問はあるか。</p> <p>選定委員 巻末資料に上手な話し方・聞き方・話し合い・役割演技等の簡単な手法を示してあるとのことだが、具体的には。</p> <p>事務局</p>
--	---

<p style="text-align: center;">会 議 の 進 行 状 況</p>		<p style="text-align: center;">例えば、4年生であれば、P. 45～P. 47にある。</p> <p>選定委員 読み物編と活動編の行き来との説明があったが、具体的には。</p> <p>事務局 例えば、5年生を例に、読み物編と活動編の目次を見比べてみると、1の「ごちそうの向こうに」は、活動編では、自分自身のことの内容項目P. 8とつながっている。</p> <p>事務局 ○教育出版について報告する。 1 〈道徳的諸価値についての理解を深めさせる工夫〉 ・「学びの手引き」では、発問例として「従来型」「問題解決型」「アクティブラーニング型」の各要素を含んだ複数のものが示されており、授業者が取捨選択できるようになっている。 ・「ジャンプ」と題した設問や「スキル」と題したページで体験型学習を取り入れ行動化を目指しているつくりになっている。 2 〈自己の生き方への考えを深めさせる工夫〉 ・巻頭にオリエンテーションのページがあったり、学びの手引きに「自分の考えをまとめる」「発表する」「話し合う」発問があったりと、児童の生活や考えと関わりをもたせるようにしている。 3 〈道徳性を育成するための工夫〉 ・教材内での問題点や登場人物の行動等のよい点に気付く力をつける発問が示されている。 ・巻末に振り返りのページがあり、自分の成長について考え、次学年への意欲を記入できるようになっている。 4 〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での効果的な工夫〉 ・生命尊重、いじめ、情報モラルに重点を置き、対応する教材が各学年に掲載されている。 5 〈発達段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成させるための効果的な工夫〉 ・「生命の尊さ」に重点を置いていて、各学年の発達段階に合わせて取り上げられている。 ・各教材の最後に学びの手引きが示され、話合いの流れが明確になっている。 6 〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する効果的な工夫〉 ・主人公だけでなく、他の登場人物との比較をしたりロールプレイをしたりする発問があり多面的・多角的にものごとを捉える手助けとなっている。 7 資料の特色 ・低学年には、巻末に礼儀・マナーの学習がある。 ・高学年でも教材文は比較的長くない。 8 表記表現の特色 ・内容項目ごとに4つの視点をマークで示している。目次は色分けされており、索引は内容項目ごとに示されている。</p> <p>最後に、全体的に、内容項目ごとの問いかけがあり、問題解決的な学習が展開できるつくりとなっている。体験的な学習を多く取り入れ、行動化を図っている。学習の手引きでは複数の発問が示され、授業者が学習の型式によって取捨選択</p>
--	--	--

<p style="text-align: center;">会 議 の 進 行 状 況</p>		<p>できるようになっている。</p> <p>会長 質問はあるか。</p> <p>選定委員 学びの手引きの発問例の「従来型」、「問題解決型」、「アクティブラーニング型」とはどんなものか。</p> <p>事務局 例えば、1年生であれば、P. 21にある。「従来型」は1、2、「問題解決型」は、4、5、「アクティブラーニング型」は3、6となる。</p> <p>選定委員 「ジャンプ」と題した設問や「スキル」と題したページとは具体的にはどのところか。</p> <p>事務局 1年生を例にすると、「ジャンプ」は1年P. 69、「スキル」はP. 34にある。</p> <p>事務局 ○光村図書について報告する。 1 〈道徳的諸価値についての理解を深めさせる工夫〉 ・発達段階や資料に合わせて、登場人物への自我関与、問題解決的な学習、道徳的行動に関する体験的な学習をおり交ぜながら、道徳的価値の自覚を深められるように工夫されている。 2 〈自己の生き方への考えを深めさせる工夫〉 ・各学年の巻頭に、道徳の時間についての詩やオリエンテーションのページがあり、児童が問題意識をもって学習に取り組み、自己を見つめることができるようにしてある。 3 〈道徳性を育成するための工夫〉 ・学んだことや心の変化を記入する「学びの記録」が各学年4か所（低学年は3か所）設定されている。また、2年生以上の教材末の「学習の手引き」に他教科や日常生活読書につながる「つなげよう」が設定されている。 4 〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での効果的な工夫〉 ・「いじめ」「情報モラル」「福祉・共生」「環境」「国際理解」といった現代的な課題について、多面的・多角的に考えられるように、教材とコラムを組み合わせた「ユニット」を設定している。 5 〈発達段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成させるための効果的な工夫〉 ・全学年に命をテーマとして巻頭詩が掲載されている。生命尊重に関する教材が各学年3つずつ掲載されている。 ・学校生活と児童の成長に合わせて、1年間で4つの学習のまとまりに分けている。 6 〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する効果的な工夫〉 ・「なんだろうなんだろう」を3～6年に掲載し、道徳的価値が含まれたテーマについて、作者と一っしょに問答できるようになっている。 ・長期休業前のコラムには、各学年に自主的な学びにつなげられるような提示がしてある。 7 資料の特色</p>
--	--	--

<p style="text-align: center;">会 議 の 進 行 状 況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教材内容の理解を助け、イメージを豊かに広げる挿絵や大判を生かした迫力ある写真が効果的に配置されている。 ・各学年の巻末付録に「わたしたちの学ぶ世界」が掲載されている。価値項目の関連と自分と世界のつながりが見開きで示されている。 <p>8 表記表現の特色としましては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・難しい言葉には、解説が示されている。 <p style="padding-left: 2em;">最後に、全学年に命をテーマとした巻頭詩がある。また全学年に命をテーマとした教材が3つ掲載されており、生命尊重に重点がおかれている。</p> <p style="padding-left: 2em;">また、道徳の学びと自分とのつながりを視覚的に示している「わたしたちの学ぶ世界」がある。</p> <p>会長 質問はあるか。</p> <p>選定委員 教材とコラムを組み合わせたユニットとは、どのようなものか。</p> <p>事務局 例えば、4年生であれば、14、15の教材として、いじめ防止のためのくくりとなっている。</p> <p>選定委員 1年間で4つの学習のまとまりに分けているとありますが、どのようなものか。</p> <p>事務局 内容項目ABCは2、3か月ごとに、Dは年間をとおして設定されている。</p> <p>事務局 日本文教出版について報告する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 〈道徳的諸価値についての理解を深めさせる工夫〉 <ul style="list-style-type: none"> ・主題、導入発問、あらすじ、ねらいにせまる発問、自分を見つめ今後に生かす発問を全教材に掲載している。「道徳ノート」には学習内容が書き込め、指導や評価の参考になると共に、保護者との連携を図れるよう保護者欄を設けている。 2 〈自己の生き方への考えを深めさせる工夫〉 <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭のオリエンテーションと「道徳ノート」巻頭の「自分のことを書いてみよう」を活用することで、児童が問題意識をもって取り組み、自己を見つめられるようにしている。「道徳ノート」には多面的・多角的な考えがもてるよう友達の意見を書く欄がある。 3 〈道徳性を育成するための工夫〉 <ul style="list-style-type: none"> ・「道徳ノート」を活用することで児童が自らの振り返りができ、教師にとっても児童の成長を把握できるようにしている。問題解決的な学習や体験的な学習の手法に適した教材には「学習の手引き」で学びの参考例を提示している。 4 〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での効果的な工夫〉 <ul style="list-style-type: none"> ・「いじめ防止」を最重要テーマとし、集中的に学習することにより、より確実な定着を目指しユニット化し、学期に一度配置している。また、情報モラル教材が、全学年に掲載されている。
--	---

会 議 の 進 行 状 況	<p>5 〈発達段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成させるための効果的な工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材名下部に導入発問例、文章末尾に「考えてみよう」として教材のねらいにせまる発問例、「見つめよう 生かそう」として学習を通して学んだこと、等を自発的に確かめ、生かしていくための発問例を掲載している。 <p>6 〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する効果的な工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習の手引き」に主体的・対話的で深い学びを実現するため役割演技等の手法を掲載している。 ・「道徳ノート」には教科書の発問に対応した自分の考えを記入する欄があり、児童が自分を見つめたり、自己評価したりすることができるようになっている。友達の考えを書き込む欄により、多面的・多角的な見方や考え方に気付く工夫がされている。 <p>7 資料の特色</p> <ul style="list-style-type: none"> ・付録に4つの教材が掲載され、同じ内容項目の教材と入れ替えて学習できるようになっている。 ・全学年を通し、様々な国や児童が興味をもつような偉人や実在する人物が扱われ、主体的に学ぶことができる工夫がされている。 <p>8 表記表現の特色</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材ごとに4つの視点が色分けされ、主題が明記されている。難解語句や情報は頭注で解説している。 <p>最後に、「学習の手引き」で役割演技や話合いの手法を掲載している。また、「心のベンチ」で人間関係作りやソーシャルスキル体験を通して、道徳的価値の理解を深められるようにしている。さらに、「道徳ノート」には、学習内容が書き込み、指導や評価の参考になると共に、保護者欄を設け家庭との連携を図るようにしている。</p> <p>会長 質問はあるか。</p> <p>選定委員 いじめ防止に向けて、より確実な定着を目指すユニット化について説明してほしい。</p> <p>事務局 例えば、3年生の目次には、上段部分に「人との関わり」①～④までである。集中的に学ぶ構成となっている。</p> <p>選定委員 道徳ノートの保護者記入欄はどこにあるか。</p> <p>事務局 3年生のノートの巻末部分P. 41にある。</p> <p>事務局 ○光文書院について報告する。</p> <p>1 〈道徳的諸価値についての理解を深めさせる工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教材の始めには導入時の問いかけが明記されている。さらに、重点内容項目に関わる教材は複数が続けて学習できるようにまとまっており、そのまとまりの始めに学習の見通しをもてる導入のページがある。 ・教材ごとに「まとめ」として話合いや役割演技など教材に関
---------------------------------	--

<p style="text-align: center;">会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>わる多面的・多角的な考えを引き出す発問がある。</p> <p>2 〈自己の生き方への考えを深めさせる工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭にオリエンテーションのページがあり、主体的に学習に取り組めるようにしている。 <p>3 〈道徳性を育成するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末の「学びのあしあと」では児童が学んだ内容を一覧にして振り返ることが出来るようになっている。 ・各教材の発展として、「ひろげる」がある。道徳の時間で学んだことを他教科や学校での活動、家庭生活、地域社会へとつながりをもたせ広げていくためのポイントが示されている。 <p>4 〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での効果的な工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「規則の尊重」や「相互理解」などの内容項目の教材をとおして、情報モラルに関わる内容を題材として扱っている。 <p>5 〈発達段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成させるための効果的な工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年で重点内容項目に関わる教材が他と区別されて示されていて、特に生命尊重に関しては全学年で重点とされている。 ・全学年に「みんななかよし楽しい学校」のページがあり、各学年の実態に合わせよりよい学校生活について考えさせるようにしている。 <p>6 〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する効果的な工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えを書き込むページがあり、発表できない児童も自分の考えが表現できるようになっている。 ・コラム「みんなでやってみよう」が各学年に掲載されている。コミュニケーション能力を高め、よりよい人間関係の構築につながるようにしている。 <p>7 資料の特色</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材が付録を含め40用意され、実態に応じて取捨選択できるようになっている。 ・挿絵が大きく、漫画のようにコマ割りしてあるなどの工夫がある。 ・「言葉のたからもの」では道徳的な言葉が掲載されている。 <p>8 表記表現の特色</p> <ul style="list-style-type: none"> ・難解な語句には脚注がある。また、内容項目ごとに色分けされ、各学年の重点内容項目には特別なマークがついている。 <p>最後に、重点内容項目については複数の教材が続けて学習できるようになっている。また、主題と導入の問い、展開時の問い、道徳的価値の理解を深めるための問い、学んだことを生かすための問いが各教材に記載してある「学びのあしあと」に記入することで児童の成長を実感できるようにしてある。</p> <p>会長 質問はあるか。</p> <p>選定委員 導入時の問いかけの明記について具体的に教えてほしい。</p> <p>事務局 例えば、5年生のP. 32にある。</p> <p>選定委員 各学年の重点内容項目の特別なマークはどこにあるか。</p>
--	---

<p style="text-align: center;">会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>事務局 5年生P. 184にある。</p> <p>事務局 学研について報告する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 〈道徳的諸価値についての理解を深めさせる工夫〉 <ul style="list-style-type: none"> ・主題名を本文と出会う前に記載せず児童自らが主体的に課題を発見することを大切にしている。資料の最後に「考えよう」として課題にせまる発問を掲載している。 2 〈自己の生き方への考えを深めさせる工夫〉 <ul style="list-style-type: none"> ・4種類の「学び方のページ」（深めよう、つなげよう、やってみよう、広げよう）を設け、自ら考え、友達と意見を交わしながら物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めさせる工夫がある。 ・巻頭に道徳の授業の学び方を紹介するページと詩が、そして、次ページに自分のことを記述させるページがあり、自己を見つめられるようにしている。 3 〈道徳性を育成するための工夫〉 <ul style="list-style-type: none"> ・巻末に学びを振り返るページ「心の宝物」があり、1冊全体で1年間の自分の成長を感じられる構成になっている。 4 〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での効果的な工夫〉 <ul style="list-style-type: none"> ・「いのちの教育」を全学年の重点におき、連続複数時間扱いのユニットとしている。 ・情報モラル、防災教育等の現代的な課題について積極的に取り上げ、「学びのページ」でそれらの課題を自分との関係において考えられるようにしている。 5 〈発達段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成させるための効果的な工夫〉 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭との連携（6年 p. 70～73）、集団・社会との関わり（6年 p. 10～12）を重視した教材を積極的に取り入れ、家庭と連携する学習活動を提示した箇所には「家」マークを付けている。 6 〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する効果的な工夫〉 <ul style="list-style-type: none"> ・「考えよう」を設け、児童が考えを深め、自己を見つめるきっかけとなる投げかけをしている。 ・「深めよう」で問題解決的な学習の筋道を提示している。横書きになっていて、本文と区別して自分のこととして捉えることができる。 7 資料の特色 <ul style="list-style-type: none"> ・挿絵や迫力ある写真が効果的に配置されていて、意見文、物語、詩、劇、写真や漫画での展開など、多様な形式の教材で構成している。 ・他の教科、総合的な学習の時間、特別活動との関連や家庭、地域との連携など道徳的価値の視点との関連がわかるようになっている。 8 表記表現の特色 <ul style="list-style-type: none"> ・教材ごとに学習指導要領の4つの視点をマークで示している。 <p>最後に、児童が自ら主体的な課題を発見し、解決する資質や能力を培うことを重視している。そのために、あえて主題名を記載せず、児童の意識を大切に構成・展開にしています。</p> <p>学び方のページ「深めよう」では言語活動を通して自己の生き方についての考えを深められるようにしている。</p>
--	---

会 議 の 進 行 状 況	<p>会長 質問はあるか。</p> <p>選定委員 「いのちの教育」に重点をおいたユニットについて説明してほしい。</p> <p>事務局 例えば、3年生の目次にある15～17は、限りあるいのちをテーマにしている。</p> <p>選定委員 他の教科との関連については、どのページを見れば分かるか。</p> <p>選定委員 3年生の裏表紙の裏面には、他教科との主な関連が掲載されている。</p> <p>事務局 ○廣濟堂あかつきについて報告する。 1 〈道徳的諸価値についての理解を深めさせる工夫〉 ・本冊「みんなで考え、話し合う」では、教材をもとに考える対話的な学習を通して自己の生き方について考えを深め、別冊「道徳ノート」では、書くことを通して道徳的思考を深め、道徳的価値の理解を確かなものにしていく。 2 〈自己の生き方への考えを深めさせる工夫〉 ・本冊に掲載されている「道徳の時間はこんな時間」を活用し、道徳科の学習がどのような時間かを理解することができる。 ・別冊「道徳ノート」に記述することにより、深く自己を見つめ、考えることができ、振り返ることで、心の成長を実感したり、自分の課題を見つけたりすることができる。 3 〈道徳性を育成するための工夫〉 ・題名の前に道徳的価値への方向性を促す文が記載されており、学習への動機付けを行うことができる。教材の末尾「考えよう 話し合おう」の学習のめあてや発問により、道徳性を養えるようになっている。 4 〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での効果的な工夫〉 ・食育や福祉、国際理解などの「現代的な課題」について身近な問題として捉え、自分との関わりで考えることができる教材が掲載されている。 ・いじめ防止や情報モラルに関わる教材を発達段階に応じて考えられるようにしている。 5 〈発達段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成させるための効果的な工夫〉 ・低学年では「命を守る」ページを、3年生以上の学年では、特別ページ「命の教育」を設けてある。また、生命尊重に関する教材の一部は、2時間連続で配置してある。 6 〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する効果的な工夫〉 ・「考えよう 話し合おう」の欄が設けられ、児童の主体的で対話的な学びができるようになっている。 ・本冊で教材をもとにみんなで考え話し合い、別冊で自分をみつめ考える構成になっている。 7 資料の特色 ・挿絵や写真が大きく、思考の一助になっている教材がある。</p>
---------------------------------	---

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">会議の進行状況</p>	<p>4 事務連絡</p> <p>5 閉会</p>	<p>・巻末に「生命尊重」や「情報モラル」などを扱った特別なページがある。</p> <p>8 表記表現の特色</p> <p>・1・2年生では、分ち書きが取り入れられ、読みやすくなっている。</p> <p>最後に、「みんなで考え、話し合う」本冊と「自分をみつめ、考える」分冊の二冊が一つとなって、豊かな道徳性を育む構成になっている。また、先人の伝記や、様々なジャンルで活躍する著名人、スポーツ選手を扱った教材が多数掲載されている。</p> <p>会長 質問はあるか。</p> <p>選定委員 食育や福祉、国際理解などを取り扱った教材はどこに掲載されているか。</p> <p>事務局 例えば、2年生はP. 30に食育関係、P. 44に福祉、1年生はP. 76に国際理解の内容の教材がある。</p> <p>会長 全ての報告が円滑に終了することができた。これで議長の任を解かさせていただく。</p> <p>事務局 事務連絡。第3回選定委員会は7月21日に行田市産業文化会館2B会議室にて行う。</p> <p>司会 以上で、第2回第18採択地区教科用図書選定委員会を終了する。</p>
--	---------------------------	---

以上、顛末を記載して、その発言内容に相違がないことを証するため、ここに署名する。

会 長

委 員

委 員